

地域再生計画（地方創生整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	和歌山県	事業実施主体	和歌山県、紀美野町	地域再生計画名	「紀美野へおいでよ！！ ふるさと紀美野農山村地域ネットワーク計画」
計画期間	令和元年度～令和5年度	評価責任者	紀美野町建設課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	平成29年	年度	中間実績	基準年度	令和5年		指標総数	達成数		
	指標1	観光交流の活性化（年間観光入込客数の増加）	48万人	平成29年	51万人	令和3年	43.5万人	55万人	令和5年	×	3	1	新型コロナウイルス感染症拡大による自粛ムードの影響により、観光客増につながらない要因と考えられる。ただし、コロナ感染のリスクが低いとされる屋外観光施設が多いということもあり、客数は増加傾向となっている。
	指標2	移住・定住の促進（移住者数の増加）	139人	平成29年	165人	令和3年	171人	180人	令和5年	○	3	1	中間目標値以上の数値となっており、目標達成の見込みである。
	指標3	林業の振興と森林整備の促進（間伐材年間搬出量の増加）	1,362.5㎡	平成29年	1,500㎡	令和3年	1,449㎡	1800㎡	令和5年	×	3	1	中間目標数値には届いていないが、おおむね達成している。路線の計画完了時には、目標達成の見込みである。
②事業の進捗状況	事業名			整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
			計画	中間年度（R3）	最終実績見込み								
特別措置を適用して行う事業	町道釜滝柴目線道路改良事業（整備延長）	1,166m	460m	710m	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は、39%と遅れが伺えるが、延長に考慮されていない橋梁下部工事についても計画的に着手し進められている。今後、計画期間の延長及び事業費の変更も視野に入れ、引き続き整備を行う。								
	林道毛原下滝ノ川線舗装改良事業（整備延長）	1,600m	480m	1,634m	令和3年度より施工開始のため、30%程度の進捗であるが、計画どおり令和5年度に完了の見込みである。								
	林道毛原勝谷線舗装改良事業（整備延長）	2,010m	706m	2,010m	令和3年度より施工開始のため、35%程度の進捗となっている。しかし令和4年度、5年度区間において構造物工が多く施工延長が伸び悩んでいる。また、地元の要望等により運搬方法の見直し等があったため、事業費の増加があり、計画期間の延長を視野に入れ引き続き整備を行う。								
その他の事業	紀美野へおいでよ！！ふるさと紀美野農村交流事業	きみのグリーンツーリズムの推進、移住定住紀美野暮らしの推進を行う			グリーンツーリズムの推進として、農村交流（農家民泊）事業、移住定住の推進として空き家調査・発掘事業、農業の担い手育成支援事業を行った。								
	間伐材流通支援事業	荒廃した森林再生のための森林整備（間伐）の実施			間伐材の販売量を向上させ、間伐を促進することにより山林の荒廃解消等を目的とし、町内の山林からの間伐材の搬出に伴う経費の負担軽減のために、1㎡あたり1,000円の補助金を交付。								
	移住交流推進事業	移住相談の実施、移住体験モニターツアー（現地体験会）の開催			移住を希望、検討される方に移住相談の実施、移住体験モニターツアー（現地体験会）の開催している。								
	農林産物の流通・販売促進	都市部スーパーでの直接販売、各種イベントでのPR			トップセールス（京都で山椒、東京で柿を農協が販売するところに町長が同行）や農林商工まつりでの販売促進を計画していたが、コロナウイルス感染予防のため中止となった。								
	サイクリングによる観光促進事業	観光サイクリングルートやサービスの開発、休憩所の整備やいなカフェめぐりマップの作製			生石高原などで自転車ラックや空気入れなどを設置しており、サイクリング王国和歌山モバイルスタンプラリーのチェックポイントとしてサイクリストが訪れた。また、周遊ルート付きのパンフレット「きみの旅さんぽ」を作成し、周遊促進を行った。								
計画外で独自に実施した事業													
③評価方法	紀美野町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会を開催し、その中で中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。												
④中間評価の公表方法	紀美野町企画管財課のホームページに掲載												
⑤計画全体の総合評価	町内ネットワーク化のための道路を整備することは、観光などに非常に有利である。また、事業として効果があるという評価となり、引き続き頑張って事業に取り組んでいくよう意見が出た。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況						有りの場合その具体的内容						
	地域再生計画の見直し（有・無）						町道釜滝柴目線については、事業進捗状況が遅れているため中間評価の結果を踏まえ、事業期間の延長及び事業費の増額について変更検討する。林道毛原勝谷線についても同様に、計画変更を検討する。						
	令和5年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額 千円						町道釜滝柴目線について当初概略設計より事業費の積み上げを行っており、詳細設計業務に伴い橋梁工の事業費増となった。林道毛原勝谷線については、地元の要望等により運搬方法の見直し等があったため、事業費の増加があった。						
⑦今後の方針等に対する対応	上記理由により、町道釜滝柴目線・林道毛原勝谷線の事業費の増額、及び施工実績に伴った延長の変更を行う予定である。												